

令和6年度「DCMの森 胆沢」植樹会

岩手南部森林管理署では、国民参加による森林づくり活動の一環として、企業の社会的責任（CSR）活動等を目的とした「社会貢献の森」があります。平成25年度に、DCM株式会社と岩手南部森林管理署の二者において、社会貢献の森協定を締結し、以降毎年度、協定箇所現地にて植樹活動を実施しています。令和6年7月20日、社会貢献の森となっている奥州市胆沢若柳字東前川山国有林51林班内において、DCM株式会社職員及びご家族38名、奥州地方森林組合職員2名、岩手南部森林管理署職員3名で植樹を実施しました。

コンテナ容器の中で育苗されたコンテナ苗のアカマツ1,200本を、ディブルと呼ばれる植樹専用器具を使って植穴を掘り、硬い地盤と悪戦苦闘しながら植樹を行いました。次年度以降も継続して植樹活動を行うこととしています。

